

豚のスス病の 現状と対策

(有)サミットベテリナリーサービス 石川弘道

はじめに

スス病は、正式名称を浸出性皮膚炎といい、スタフィロコッカス・ハイカス (*Staphylococcus hyicus*) という細菌が原因で起こる豚の皮膚病です。一〜六週齢の子豚に散発し、冬季の換気の不足する時期に多発する傾向があります。

哺乳中に発症する場合もありますが、ほとんどは離乳後一週間を経過してから発症します。発生形態は、散発的な発生で終息する場合と、集団発生で継続する場合があります。大規模農場では集団発生になるケースが多く認められます。

スス病の症状と発生要因

症状は、発症初期は耳翼や腹部の皮膚が赤くただれたように

なり(写真1)、時間の経過とともに、ただれた部位にほこりや汚物などが付着し、本病特有のススを被ったような皮膚病変を形成します(写真2)。ここまで症状が進むと死亡するものも多く、被害も甚大なものとなります。

スス病の原因菌であるスタフィロコッカス・ハイカスという菌は、豚の皮膚や口腔、豚舎の床面などに常在しますが、普段は発症することはまれです。何かが引き金となって本病が発生しますが、その原因はまだ分かっていません。

筆者の経験から、本病は、繁殖母豚の更新率が高まったり、新規に農場を立ち上げ初産豚の



写真1 スス病発生初期の皮膚病変。発症初期は耳翼や腹部の皮膚が赤くただれたようになります。

割合が多くなったりしたときに多発するよう感じられます。また、PRRSが動き始める時期に一致して、スス病が発生することもあるようです。

病原菌はどこに存在するのか？

スス病対策を進めるためにはまず、敵の存在場所を知らなけ



写真2 スス病の典型的な病変。時間の経過とともに、ただれた部位にほこりや汚物などが付着し、本病特有のススを被ったような皮膚病変を形成します。

表1 *Staphylococcus hyicus* 分離状況

採材箇所	陽性/検体数
分娩前母豚（耳根部スワブ）	4/7
分娩後母豚	11/18
哺乳子豚の口腔	13/13
離乳子豚（離乳直後）の口腔	7/10
母豚のふん便	0/18
床面	3/3

スス病の発生は、母豚の皮膚に菌が存在するの
 であらば、母豚の体表を消毒すれば、菌が減少するのではない
 から生まれたい豚にスス病の発生頻度が多いことから、繁殖候補豚に対し、スス病で淘汰した子豚を馴致の材料に使用した結果、初産豚から生まれた子豚のスス病発生

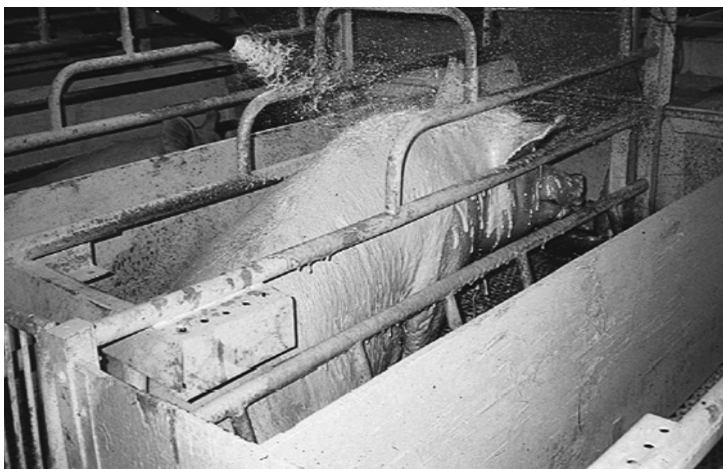


写真3 母豚の豚体発泡消毒。消毒後、3時間までは菌が分離されず、24時間経過後も細菌数は低レベルで推移しました。

ればなりません。

表1は、筆者がスス病の分離を実施した結果です。母豚の皮膚や、子豚の口腔内、床面からスス病の原因菌が高率に分離されました。母豚のふん便からは菌は分離されませんでした。このことから、子豚は生まれ

た直後に母豚の乳房から菌を経

スス病対策には 母豚の豚体消毒が有効

口的に摂取し、口の中に菌を保有し続け、けんかによってできた傷口から菌が侵入してスス病が発生すると仮定しました。

かと考え、母豚の豚体発泡消毒を実施しました（写真3）。消毒後、体表からの菌分離を
 実施したところ、消毒後三時間までは菌は分離されず、二四時間経過後も菌数は消毒前より少ないレベルで推移しました（表2）。このことから、消毒により一定の効果を得られることが推察されます。

頻度も下げることができました。
スス病の発生を防ぐためには
 本病の対策をまとめると、次のようなものが挙げられます。

表2 母豚の豚体発泡消毒後の体表からの菌分離状況

	採材時期	母豚1	母豚2	母豚3
第1回目消毒 (分娩7日前)	消毒前	+++	+++	+++
	消毒30分後	-	-	-
	消毒3時間後	-	-	-
	消毒24時間後	++	++	-
第2回目消毒 (分娩前日)	消毒前	++	+++	++
	分娩48時間後	+++	+++	++

※分離菌は表皮ブドウ球菌

ておく。

② 発症豚に対し、豚体消毒を実施する。

③ 離乳豚舎に移動後二週間、感受性薬剤を飼料に添加する。この場合も耐性菌の出現には十分注意する。

④ 母豚更新は計画的に行い、年間五〇%を超える更新は避ける。

⑤ 初産豚に対し、スス病で淘汰した子豚による馴致を実施する。

この馴致は交配六〇日前までには済ませておく。

⑥ 分娩予定日の前日に、母豚の豚体消毒を実施する。

⑦ 離乳時の群編成時に起こるけんかを軽減するために、腹単位の移動を実施する。

これらに留意し、農場をスス病から守ってください。



① 発症豚に対し、ペニシリン系薬剤を三日間連続注射する。しかし、耐性菌の出現も早いことから、常に薬剤感受性は確認し